

目 的：平成18年度に実施した景観基礎調査では各地区の景観資源を詳細に検討し、今後の景観まちづくりの指針とするべく4地区の現地調査（B調査）を実施した。今年度も3地区から現地調査の希望があり、景観形成への意識を醸成し、景観まちづくりの効果を上げるべく調査を実施したものである。

実施地区：立花地区、相去地区、二子地区

実施概要：景観講義、現地調査、景観マップ・景観カルテ作成、景観まちづくりの方針検討

今年度実施したB調査では、きたかみDESIGNネットワーク、北上市まちづくりインストラクターの皆様にご協力をいただき、地区住民の皆様と共に景観資源の分布や活用状況を調査した。調査結果は、次ページ以降に示したとおりである。

該当地区はいずれも多くの史跡名所を有する特色ある区域で自治会活動も活発であり、他の模範となる地区であることは言うまでもない。

二子地区は地名の由来でもある二子山を中心に和賀氏の史跡、神社、巨木、泉など、多くの史跡があり、自治会活動の中でも重点的にまちづくりの資源として活用されていた。

立花地区は東北有数の景勝地である展勝地を有し、桜の時期には多くの観光客が訪れる場所であり、本調査では地区住民が特に注目している陣ヶ丘周辺が対象となり、重要であるがゆえの大きな課題も提起された。

相去地区は、伊達藩と南部藩の藩境の地であり、多くの旧跡がある中、今回は今まで住民もあまり注目していなかった水源地や水脈上に点在する旧跡周辺を調査した。

いずれの景観資源も、住民の活動によって大切にされていたことは言うまでもないが、その重要性がまだまだ市民に知られていないのが大きな課題である。加えて、周辺の景観やアクセスの分かりにくさなど、景観まちづくりの課題は数多くある。このことは、地域がもっと美しくなり得るということ、その資源がまだまだたくさんあるということを示しているのではないだろうか。

また、立花地区は岩手県の景観点検事業にも取り組み、景観実験によって展勝地周辺の修景を体験した。このことは、新聞各紙に大きく取り上げられたことから、多くの市民が知るところとなった。このように、B調査は単に地域の景観資源を抽出するだけでなく、住民の皆さんが景観まちづくりの効果を体験することができる。未実施の地区については是非体験していただきたいものである。

おわりに、この業務を実施するにあたっては、地域の多くの皆様にボランティア協力をいただき、大きな成果を得ることができた。心から感謝の意を表したい。



# 1. 立花地区

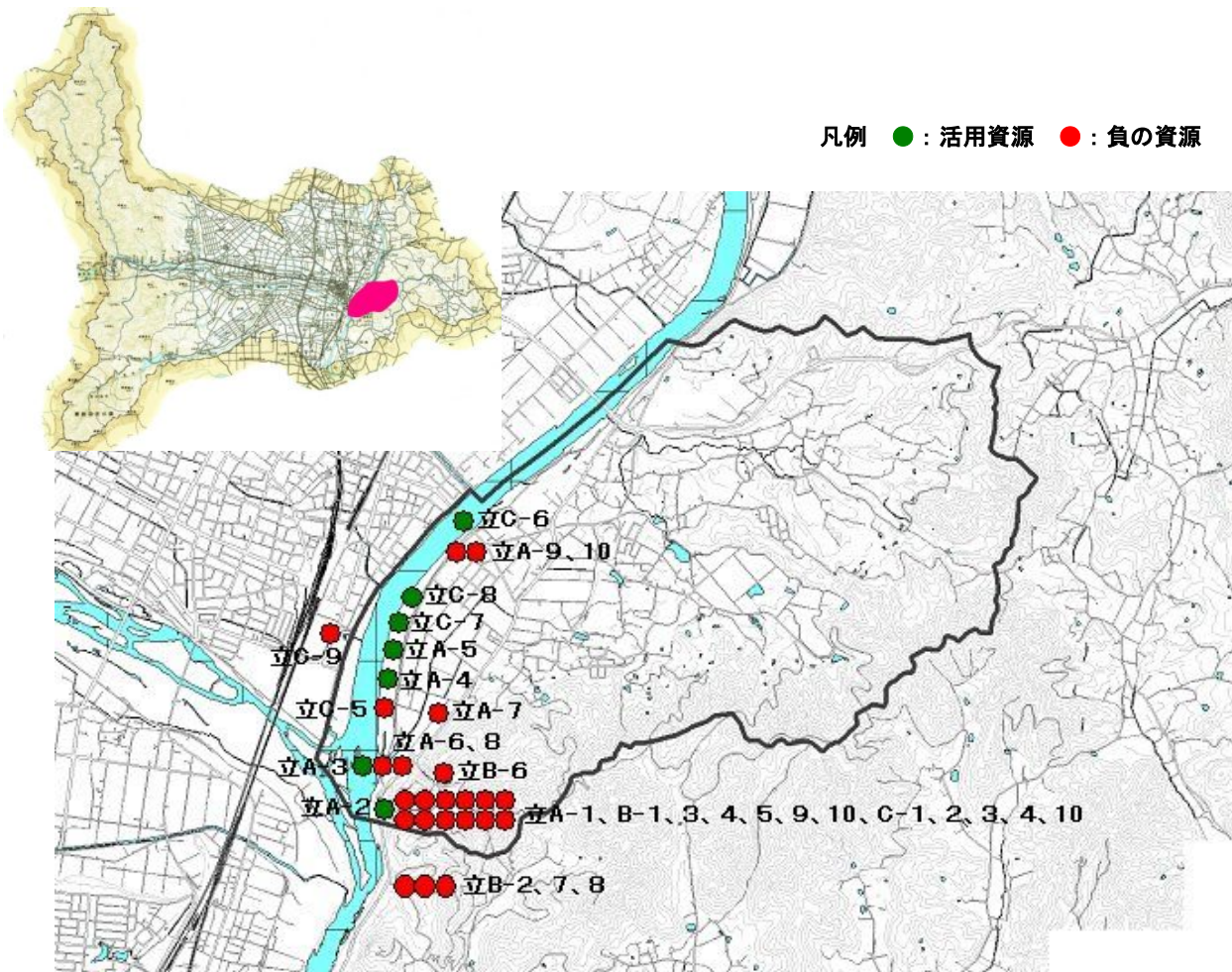
平成 19 年 7 月 4 日 (水) 実施

調査概要：展勝地公園南東に位置する陣ヶ丘を中心に公園から陣が丘方向の眺め、川岸から川東全体の眺め、陣ヶ丘からの眺望を中心に調査した。

調査結果：陣ヶ丘はツツジや雑木が繁殖し、桜並木をはじめ、北上川、和賀川の眺め、奥羽の眺めが妨げられている。かつては見えていたはずの陣ヶ丘斜面の岩肌や松並木も雑木に隠されている。近年は陣ヶ丘に登る市民も少なく、東屋や案内表示なども手入れがなされていないなどの課題が指摘された。



立A-1	陣ヶ丘	立B-1	陣ヶ丘から展勝地への眺望	立C-1	陣ヶ丘の岩場斜面
立A-2	陣ヶ丘展望台	立B-2	男山から展勝地方面への眺望	立C-2	陣ヶ丘からの眺望
立A-3	レストハウス合流点	立B-3	陣ヶ丘建物デザインの統一	立C-3	陣ヶ丘アカマツ
立A-4	桜並木と河川敷の柳の木	立B-4	看板デザイン統一	立C-4	陣ヶ丘ツツジ
立A-5	桜並木のあじさい	立B-5	国見山方面への眺望	立C-5	河川敷のヤナギ
立A-6	レストハウス川辺	立B-6	民俗村看板、柵	立C-6	珊瑚橋の色彩
立A-7	レストハウス第3駐車場 倉庫の屋根	立B-7	やすらぎの像周辺	立C-7	ヨシキリの育つ環境
立A-8	レストハウスプレハブ	立B-8	男山階段手すり防塵策	立C-8	川岸からの展勝地景観
立A-9	児童公園テニスコートフェンス	立B-9	陣ヶ丘歩道の枕木	立C-9	駅東口の構造物景観
立A-10	児童公園看板	立B-10	松喰い虫	立C-10	川岸からみた陣ヶ丘ツツジ山



## 2. 相去地区

平成 19 年 8 月 28 日 (火) 実施

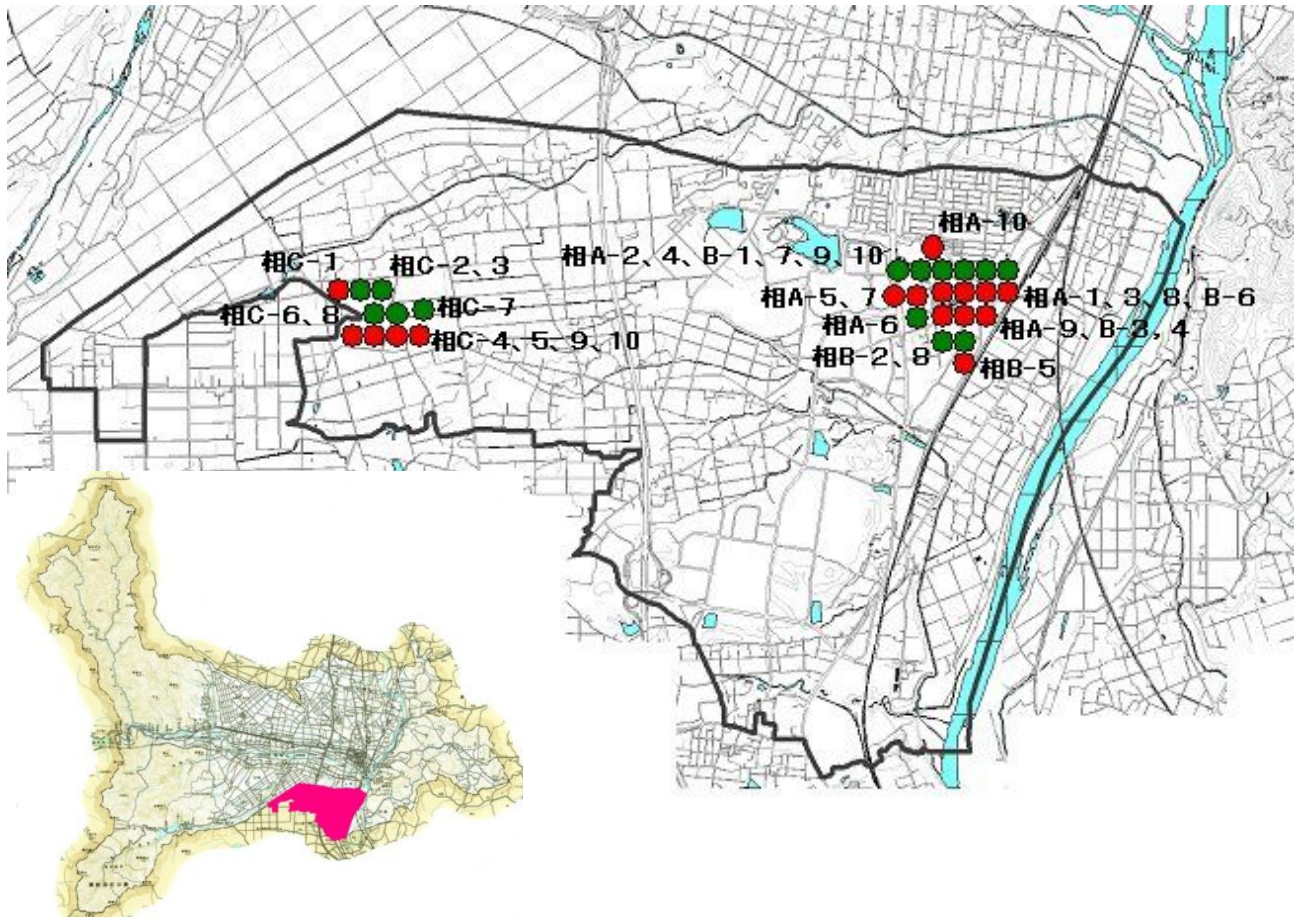
調査概要：古くからこの地域の水脈、そして歴史資産として親しまれている白山の森周辺や市姫神社周辺の景観を調査した。

調査結果：白山の森は館跡として空掘りなどがあり、地域の歴史的な場所として意識されている。多くの住民が参加してよく整備されているものの、大きくなりすぎた杉林や水際など、整備されていない部分もあり、課題として指摘された。市姫神社周辺は歴史的な水源地でもあり、豊かな自然を体感できる場所だ。その一方で歩道の整備やプレハブ倉庫などの無造作な人工物の処理が課題とされた。



相A-1	白山の森入口	相B-1	白山の森参道	相C-1	大清水 水源間伐材
相A-2	白山の森広場の一本杉	相B-2	清水	相C-2	大清水 水源・歩道
相A-3	白山の森広場の桜	相B-3	調整池南側道路	相C-3	大清水 水源・沢グルミ
相A-4	城跡(相去館)	相B-4	調整池周辺	相C-4	市姫神社周辺看板
相A-5	中堤公園	相B-5	清水の森南側斜面(エルク東側)	相C-5	市姫神社周辺プレハブ
相A-6	中堤	相B-6	白山の森 杉林	相C-6	市姫神社周辺看板
相A-7	中堤	相B-7	社殿跡地の古木(神木)	相C-7	大清水周辺地域駐車場
相A-8	白山の森北空堤	相B-8	清水の森	相C-8	市姫神社通路・参道
相A-9	調整池	相B-9	白山の森(ヒマラヤ杉2本)	相C-9	市姫神社通路鳥居
相A-10	蒼前森の赤松	相B-10	城跡の堀	相C-10	市姫神社周辺石碑

凡例 ●：活用資源 ●：負の資源



### 3. 二子地区

平成 19 年 8 月 30 日 (木) 実施

対象区域：地区内全域に点在する名所、旧跡 11 ヶ所を調査した。

調査結果：地名の由来である二子山、飛勢城を中心に点在する神社、一里塚、斎藤ヶ沢、五輪壇など、歴史資源の豊富さを改めて確認した調査といえる。それぞれ、主に構造物についての色や形、老朽化に課題が指摘されたほか、新堰川公園では、ボランティアによる清掃継続が確認された。また、北上川周辺は眺望の良い場所が多く、地区全体としても名所、旧跡を回遊するコースが出来るほど景観資源は多い。



二A-1	菅原神社境内から北方の眺望	二B-1	飛勢公園展望台	二C-1	地藏堂
二A-2	県指定の一里塚	二B-2	飛勢公園トイレ	二C-2	尻引船場
二A-3	二子一里塚	二B-3	五輪壇登り口	二C-3	留場から北上川
二A-4	塚越稲荷神社	二B-4	斎藤ヶ沢	二C-4	あじさいロード
二A-5	県指定の一里塚	二B-5	八幡神社階段	二C-5	小鳥崎のカヤの木
二A-6	新堰川の河川公園	二B-6	五輪壇からの眺望	二C-6	熊野神社
二A-7	新堰川の河川公園	二B-7	五輪壇案内看板と入口からの階段	二C-7	熊野神社ゲートボール場
二A-8	新堰川の河川公園	二B-8	斎藤ヶ沢 浸食防止	二C-8	秋葉山
二A-9	蟹沢坂からの二子の眺望	二B-9	白鳥神社参道	二C-9	下川端イチョウの木
		二B-10	斎藤ヶ沢	二C-10	熊野神社(岡島)
				二C-11	旧二子役場

凡例 ● : 活用資源 ● : 負の資源

